

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392200073
事業所名	グループホーム奥町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	中学生の職場体験の受け入れをしており、実習に来た中学生が事業所に遊びに来る時もある。歌やカラオケをするなどのボランティアの受け入れが増えている。事業所で避難訓練をした時には、近隣の人が利用者の見守りをしてくれるなど、地域との関係は密になってきている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取り組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は年6回開催している。誤嚥についてや地域行事、避難訓練などについて話し合われている。その中で、利用者の転倒についての質問があり、現状を報告している。その後、職員間で話し合い歩行訓練や体操に力を入れた支援を行い、転倒防止に繋がっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	日頃から介護に関することで疑問に思った時は、電話で相談をして助言を貰っている。市主催の感染症研修、実践者研修、ケアマネージャー研修など職員に合った研修を受けている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	利用者の日頃の様子がわかる個別の手紙を、毎月家族に送付している。面会時や年2回の家族会、ケアプラン作成時、運営推進会議、他に電話で連絡する時など話す機会は多くあり、家族から要望を聞くようにしている。	○
重点項目⑤		評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。